

試験科目名
メディアサイエンス

受験番号

（4枚中1枚目）

問題1は全員必答です。問題2，問題3，問題4については，3つの中から2つの問題を選択して解答します。

（必答問題）問題1 以下の設問に答えなさい。

問題1-1. 幾何学的錯視を4つ選び，それぞれの名称と共に図示して，どのような錯視かを説明しなさい。（20点）

問題1-2. ベクシオンを抑制する方法を可能な限り多く記しなさい。（20点）

問題1-3. 放射量と測光量の違いについて，説明しなさい。さらに，できるだけ多く，放射量とそれに対応する測光量の例をあげ，それらの単位も含めて，説明しなさい。（20点）

試験科目名
メディアサイエンス

（4枚中2枚目）

受験番号

（選択問題）問題2

以下の問いに答えなさい。（70点）

1）まとまり（群化）の要因（あるいは法則）について、図を用いてできるだけ詳しく説明しなさい。

2）錯視を研究する意義について説明しなさい。

3）眼球運動の種類と役割について説明しなさい。

4）明るさの錯視について、1つ選び、図を用いてできるだけ詳しく説明しなさい。

試験科目名
メディアサイエンス

受験番号

（4枚中3枚目）

（選択問題）問題3

ベクションはなぜ面白いのか？あなたの考えを記しなさい。（70点）

試験科目名
メディアサイエンス

受験番号

(4 枚中 4 枚目)

(選択問題) 問題 4.

色を定量的に扱うためには、色を表すシステムである表色系が必要となる。表色系について、以下の問いに答えなさい。(70 点)

- 1) マンセル表色系での色を表す基本的な考え方について説明しなさい。
- 2) CIE1931XYZ 表色系での色を表す基本的な考え方について説明しなさい。
- 3) CIE1931XYZ 表色系は、色差を表すには適さない。その根拠を2つ挙げ、どうして適さないのか説明しなさい。
- 4) 国際照明委員会 (CIE: Commission internationale de l'éclairage) は、1976 年に色差を表すために、2つの色空間を規定した。これらの色空間の名称を解答し、それぞれ、どのような考えに基づいて設計されたのか説明しなさい。